

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進
目的	交通安全県民運動や交通安全教育を推進し、県民の交通安全意識を一層高めるとともに、交通環境の整備や交通指導取締りにより、県民を交通事故から守ります。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
交通事故年間死者数 (暦年)	目標値		20.0	19.0	19.0	18.0	人 以下	交通事故年間死傷者数 (暦年)	目標値		1500.0	1450.0	1400.0	1350.0	人 以下
	実績値	27.0							実績値	1640.0					
	達成率	-	-	-	-	-			%	達成率	-	-	-	-	
交通事故年間高齢者死者 数 (暦年)	目標値		10.0	9.0	9.0	9.0	人 以下	歩道の整備率	目標値		86.0	88.0	90.0	93.0	%
	実績値	13.0							実績値	84.0					
	達成率	-	-	-	-	-			%	達成率	-	-	-	-	
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績 等の補足説明(任意 記載)															

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的 に対する現状 (客観的事実・データ などに基づいた施策 の現状や取組状 況)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年1月～7月末までの交通事故死者数等の状況は以下のとおり。 交通事故死者数 17人(前年同期比±0人) 交通事故死傷者数861人(前年同期比▲96人) 交通事故高齢者死者数 11人(前年同期比+2人) 平成27年の交通事故発生件数は1,388件で前年と比べ減少(前年同期比▲195件) 前年に引き続き、特に高齢者を重点とした交通安全意識の啓発に取り組んだ。(数字は平成28年1～6月実績) 新聞、テレビ等の媒体による広報120回(前年同期比+5回) 各種講習受講者(86,250人(前年同期比▲2,329人) 高齢者個別訪問35,828人(前年同期比▲4,854人) 交通指導取締件数 28,215件(前年同期比▲1,101件) データ：県警察本部 歩道等の整備については、平成22年度に策定した歩行環境整備計画(優先整備区間：L=1,340km)に基づいて整備を進めている。 防護柵(ガードレール等)の整備については、平成19年に策定した車両防護柵整備方針に沿って、優先度の高い箇所から計画的に整備を進めている。
---	--

④今年度末の施策目的の達成度予測

28年度の施策目的 の達成度予測	判断	その理由
A:達成できる B:概ね達成できる(見直す 点がある) C:達成は困難	C	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年7月末現在で既に交通事故死者数が17人、内高齢者死者数が11人に達しており、目標達成は困難である。 死傷者数については、今後の各種対策の推進により、1500人以下を達成可能と見込まれる。 歩道の整備については、計画的な予算配分によりほぼ順調に進捗する。

⑤課題の認識

(1)平成31年度 末の施策目的の達成 状況(予測)	判断	その理由(④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載)
A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	B	交通事故による年間死者数・負傷者数ともに近年減少傾向にあり、H27年の年間事故件数、高齢者死者数、負傷者数はH元 年以降の県最少値を更新した。直近10年間の交通事故死者数推移を全国、中国各県と比較すると、本県の減少率が高い。高 齢者交通安全アドバイザーの活用、高齢者個別訪問の実施、交通安全リーダーの育成など、交通安全規範意識の向上や高齢 者に対する安全対策の強化にさらに取り組み、高齢者をはじめとする交通事故全体の抑止に努めるとともに、歩行環境整備 計画に基づく歩道整備について、優先的に予算配分を行うことにより、施策目的は概ね達成できると見込まれる。
(2)施策の目的達 成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> 上半期における交通死亡事故は、前方不注意、安全速度、一時不停止、高齢歩行者の夜光反射材非着用などの複合要因によるものである。継続的な啓発により県民の交通安全意識を高めるとともに、運転者については、スピードダウン、緊張感の保持、交差点進行時の安全走行を、高齢歩行者に対しては、道路横断時の安全確認の徹底、夜光反射材の着用促進など対象に応じた対策を強化する必要がある。 交通安全のための道路整備及び安全施設整備について、今後も優先的な予算配分を行い計画とおりの目標を達成するには、国の交付金等の総額確保を推進していく必要がある。 歩道整備を着実に進め目標を達成するためには、国の交付金等の総額確保が必要である。また、予算を有効かつ効率的に活用するために、当面の対策を検討するなど多様な手法による整備を推進する必要がある。 防護柵(ガードレール等)は、危険度の高い箇所を優先的に整備しているが、一方で整備箇所以外での事故が発生した事例があり、適切に安全対策を図る必要がある。

⑥今後の取組みの方向性

課題解決に向けての 今後の取組みの方向 性	<ul style="list-style-type: none"> 「第10次交通安全計画」(H28～H32)に基づき、各年度の実施計画において、関係機関と連携しながら目標達成に向けて進行管理を行う。 「運転者」と「高齢歩行者・自転車」に重点を絞った交通死亡事故抑止対策を推進する。 (運転者)交通指導取締りをはじめ、「緊張感の保持」「スピードダウン運動」「早めライトの点灯と上向きライト走行」などの対策のほか、ドライブレコーダーから得た映像データを活用した交通安全教育等を展開する。 (高齢歩行者・自転車)「道路横断時の安全確認」「夜光反射材の着用」などの徹底を図るため、歩行環境シミュレータや自転車シミュレータ等機器を活用した参加・体験・実践型の交通安全指導を実施する。また、4警察署(松江、出雲、浜田、益田)配置の「高齢者交通安全アドバイザー」を活用して、高齢者が集まる場所でのワンポイントアドバイス、夜光反射材の貼付活動や高齢歩行者等の街頭における保護誘導活動を推進する。 ゾーン30(最高速度30km/hの規制区域)の整備、事故危険箇所対策を重点としたバリアフリー対応型信号機及び歩車分離式信号機の整備、自転車の道路交通環境の整備等に取り組む。 交通安全のための道路整備や通学路対策の予算確保については、国の予算配分方針等を的確に把握し工夫しながら要望を行い、交付金等の総額確保に努める。 特に、通学路対策については、平成26年度に各市町村が策定した「通学路交通安全プログラム」により、地元や関係機関と協議しながら地域のニーズに応じた整備を着実に推進する。 防護柵(ガードレール等)の設置については今後とも車両防護柵設置方針に沿って、計画的整備を行い、防護柵設置不可能箇所についても対応を検討する。
-----------------------------	--

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-1-5 交通安全対策の推進				
-------	-------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	交通安全推進事業	交通安全意識を高め、交通事故防止の徹底を図る。	7,026	7,355	交通対策課
2	運輸事業振興助成事業	交通安全対策、旅客又は貨物輸送サービスの改善・向上、環境対策などに取り組む。	119,488	117,537	交通対策課
3	交通事故相談所運営事業	被害者及びその家族等の抱える問題の解決を助け、悩みを軽減する。	5,556	6,137	交通対策課
4	安全な歩行・走行のための道路整備事業 (第二種=道路付属物設置)	より安全で快適に道路を歩行・走行できるようにする	243,374	205,044	道路維持課
5	安全な歩行・走行のための道路整備事業 (第一種=道路本体改良)	歩行空間の整備を図り、安全・安心を確保する。	3,689,644	3,080,845	道路建設課
6	交通事故総量抑制事業	交通事故の実態に基づく交通安全対策や交通安全運動・交通安全教育・各種講習及び交通指導取締り等を通じた県民の交通安全意識の向上を図り、交通事故(特に人身交通事故)を防止する。	353,968	357,980	警察本部
7	交通管制システム整備事業	交通管制システムの整備を推進し、道路利用者の安全で円滑な交通を確保すると共に快適性を向上させる。	147,441	174,761	警察本部
8	交通安全施設整備事業	交通信号機等交通安全施設の整備を推進し、交通事故防止と交通の円滑化を図り、道路利用者の安全を確保する。	526,710	507,042	警察本部
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					